



何があっても「ダメ、ゼッタイ！」 ～ 薬物乱用防止教室 ～

10日（火）、3年生を対象に「薬物乱用防止教室」を実施しました。講師は磐梯ダルクの施設長の平塚さんと所員の波田江さんです。講話では、ご自身の薬物依存の体験をとおして、薬物の恐ろしさをよりリアルにお話ししてくださいました。

現代は、薬物に関係する事件や事故が若者の間でも起こっており、中学生の子どもたちがいつ巻き込まれてもおかしくないという時代です。子どもたちの自覚が大切なことはもちろんですが、私たち大人が「もしかしたら」という危機感を持つことが、薬物から子どもたちを守る第一歩になるのではないかと思います。



校内絵を描く会を実施しました

12日（木）、「校内絵を描く会」を実施しました。昨年までは、雨天のため校舎内で実施しましたが、今年度は雨が降ることもなく、屋外で行うことができました。午前中4時間の活動でしたが、思い思いに絵筆を走らせ、ゆったりとした時間を過ごすことができました。



不審者情報多発、くれぐれも注意を！

今年は、例年になく非常に多くの不審者情報が寄せられています。学校では、その都度生徒に状況を伝え、注意を促しています。

万が一にも不審者に遭遇した場合は・・・

- ① 逃げる、大声で助けを呼ぶ
- ② 必ず大人・警察に伝える。

これらのことを徹底できるように、ご家庭でもお話しください。



ネット社会と上手につきあうために その2 ～ デジタルタトゥー、知っていますか？ ～

デジタルタトゥーとは、ウェブ上ではデータやログがいったん記録されたら永続的に残り続け、消すことはできない、という意味で用いられる言葉です。

例えば、以前コンビニのアイスクースに寝転んで撮った写真をアップした学生がいましたよね。

あれと同じように、あなたが悪ふざけをした写真を面白半分で自分のブログにアップしたとします。

それを見た人たちがタグをつけて、仲間と共有します。あなたの写真はあなたと直接面識のない人たちにも見られます。中には「こいつ、なんてことしてるんだ。」と怒りを覚える人もいます。その人はその写真に添付されている位置情報や、あなたの撮った写真の背景、または以前の書き込みなどから、あなたの住んでいる場所を探ります。また、他のアカウントを使っていればそこから本名を割り出します。そしてあなた個人を特定し、「△△中学校の□□は、こんなことやってるひどい人です。」と発信します。この情報は瞬く間に拡散し、あなたが写真や書き込みを削除しても、他の人から流れた情報はずっとネット上に残ってしまい、消せないのです。

さて、10年後、あなたは真面目に勉強に励み、大学を卒業して、目標にしていた会社の就職試験に臨みました。

その時試験官から1枚の写真を見せられます。その写真とは、面白半分の悪ふざけで撮った、あの時の写真です。

「あなたは中学の頃、こんなことをしていたんですね？」

残念ですがこのようなことをする人に我が社で働いてもらうことはできません。お引き取りください。」と言。

ほんの悪ふざけで撮った写真や書き込んだコメントでも、ネット上では消えることなく残り続け、あなたの人生そのものを壊してしまうことがあるのです。ネットの便利さ、楽しさに惑わされると、思いもかけない事態が起こることを忘れてはなりません。



< 次週の予定 >

日 曜	主 な 行 事
16 月	海の日
17 火	情報モラル講演会（全校：6時間目）
18 水	学年集会 各種委員会
19 木	小田倉地域教育講演会（18：30～）
20 金	1学期終業式 県大会壮行会 漢字コンテスト 部活動中止

情報モラル講演会、地域教育講演会ともに是非ご参加ください。お待ちしております。

◇◇ 今週の言葉 ◇◇

努力している人の口からは、
「夢」や「希望」の言葉が溢れる。
怠けている人の口からは
「不満」や「愚痴」がこぼれる。
あなたの口から出ている言葉は？

